

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹、炭山嘉伸

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀、渡邊聡明

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

2006 年の第 61 巻 8 号のこの「あとがき」で、佐渡におけるトキ（朱鷺）の「野生復帰への弾み」について述べたが、その後の進展状況を紹介したい。トキはコウノトリ目トキ科の鳥で、日本古来のトキ（Nipponia nippon）は全滅し、現在のトキは中国から借りてきたペアのトキからの子孫であること、2008 年の試験放鳥、2015 年の野生復帰を目指していることは前述した。

この 2008 年の試験放鳥が今秋にも実現されようとしている。佐渡市新穂にある「トキ野生復帰センター」では、15 羽が自然の山野に野生復帰できるように訓練を受けている。この訓練により、冬の雪が積もり凍った水辺でも餌となるドジョウが捕れるようになったという。また、さらに大きな進展は、トキのつがいがこの春につがい自身で巣作りを行い、自ら生んだ受精卵を温め雛が誕生したことだ。これまでは人工孵化または自然孵化が主体であり、2006 年からは自然孵化が多くなってきたとはいえ、自然に限りなく近い状態でヒトの手助けなしにトキが繁殖したのは初めてであり、これは野生復帰に向けての大きな進歩と言えそうだ。これらトキの半年の野生復帰へ向けた訓練の状況は 5 月 23 日午後 7 時 30 分から NHK 総合テレビで放送されたので、目にした読者もあるかもしれない。この秋の試験放鳥の結果が大いに期待されている。

私どもの新潟大学は、このトキの野生復帰に向けた取り組みを支援する地域貢献事業として、多くの教員、学生、地域住民の方々の参加を得て 2003 年より活動している。そして、2015 年には小佐渡東部地域に 60 羽のトキを定着させること、中山間地における自然再生モデルを佐渡地域に構築することを目標として教育研究活動を展開している。トキが完全に野生に帰り、自然繁殖し、自然の山野を飛び回る姿を早く見たいものである。そのためにはトキが生きられる自然環境の保護・維持が最も重要な因子となると思われる。

（畠山勝義）

臨床外科（第 63 巻 第 8 号）

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2008 年 8 月 20 日発行（毎月 1 回 20 日発行）

定価 2,625 円（本体 2,500 円＋税 5%）
2008 年 年ぎめ予約購読料 38,960 円（税込）
（送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊）

〒 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp
担 当 阿部・田村・中田
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。